

編集後記

■編集委員

委員長

藤 田 郁 代

副委員長

立 石 雅 子

阿 部 晶 子

内 田 信 也

石 坂 郁 代

稲 本 陽 子

勝 木 準

菅 野 倫 子

倉 内 紀 子

倉 智 雅 子

佐 藤 睦 子

椎 名 英 貴

中 村 光 一

長谷川 賢 一

原 田 由 紀

原 田 浩 美

春 原 則 子

平 島 ユイ子

深 浦 順 一

福 岡 達 之

藤 原 加 奈

水 田 秀 子

矢 守 麻 奈

■英文要旨の校閲

Gordon BATESON

勝 木 準

今号には、神戸市で開催された「第25回日本言語聴覚学会」(学会長 田中義之先生)の事後抄録および12編の論文が掲載されています。学会は「シン・言語聴覚士～過去から未来を繋ぎ、共に生きる」をテーマとし、盛大に開催されました。COVID-19が5類感染症に移行したことにより現地参加者が多く、各演題において活発な討議が繰り広げられました。

本誌は、医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)および日本医学会の雑誌編集ガイドラインを参考に編集・発行しています。論文を投稿される際に、共著者をどの範囲に絞るべきかについて悩まれることがあると思いますので、今回は、ICMJEが挙げている著者の基準を紹介したいと思います。投稿に際しては、この基準に照らして共著者に含めるべきかどうかをご判断ください。

ICMJE「著者資格の4基準」

著者として名を挙げられた者は、全員が著者資格の4基準すべてを満たす必要があり、4基準を満たす者は全員著者と認める必要がある。4基準のうち一部を満たしていない研究貢献者は、「謝辞」の対象とすべきである。

1. 論文の構想、デザイン、データの収集、分析と解釈において相応の貢献をした。
2. 論文作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した。
3. 発表原稿の最終承認をした。
4. 論文のいかなる部分においても、正確性あるいは公正性に関する疑問が適切に調査され、解決されることを保証する点において、論文の全側面について責任があることに同意した。

今号に掲載された論文は、発声障害に関する総説(セミナー)1編、原著論文7編、症例報告2編、短報1編、現場最前線1編です。このうち原著論文のテーマは、自閉スペクトラム症の感情理解、発達性読み書き障害の認知能力、失語症者の談話発話、失語症者のCOVID-19禍における情報の入手・理解、発語失行のアクセント特性、吃音発話に関連する要因、吃音に対する介入法と幅広いものとなっています。各研究は独自の視点からこれらのテーマを掘り下げて検討し、興味深い知見を得ています。症例報告、短報、現場最前線も臨床に根差したテーマを取り上げ、触発されることが多い内容になっています。(藤田郁代)

言語聴覚研究 (第21巻 第3号) 2024年9月15日発行 [年4回(3, 6, 9, 12月)15日発行]

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

1部定価: 2,200円(本体2,000円+税10%)

2024年年間購読料: 8,250円(4冊, 税込, 送料販売会社負担)

編集・発行: 一般社団法人 日本言語聴覚士協会(会長: 内山量史)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-29 アクロポリス東京9階

(☎ 03-6280-7628 FAX 03-6280-7629) <https://www.jaslht.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis

Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2024, Printed in Japan

制作・販売: (株) 医学書院(代表: 金原 俊) <https://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

販売・PR部 ☎ 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804

印刷所 (株) 真興社

広告取扱 (株) 文京メディカル ☎ 03-3817-8036 FAX 03-3817-8044